



東北の絆と復興のメッセージ ～東北絆まつり～

展示期間:令和3年11月16日(火)～12月23日(木)

特別区全国連携プロジェクト 令和3年度 第2回全国連携展示(東北絆まつり)

東北の絆と復興のメッセージ

東北絆まつり

展示の開催に寄せて

- 特別区高会は、全国市町村との信頼関係・絆を強化し、連携を深める取組みとして進めている「特別区全国連携プロジェクト」の一環として、東日本大震災からの復興を支援するとともに、東北の自治体との協力・連携関係を強化するため、平成27年から「東北六魂祭」(平成29年から「東北絆まつり」と改称)への協力・連携を進めてきました。
- 東日本大震災から10年という節目の年でもある今年の「東北絆まつり2021山形」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、残念ながら従来の規模に縮小した形での開催となり、特別区長会としての支援・協力についても、これまでと同様の形で行うことができませんでした。
- こうしたことを踏まえ、これまで行ってきた特別区高会としての支援・協力が代わる事業の一つとして「東北絆まつり」を紹介する展示を実施し、東日本大震災からの復興を願う「まつり」の意義や足跡を発信するとともに、東北の魅力や素晴らしさを発見し、交流を深めらさきっかけにしたいと考えています。

— 特別区長会が行ってきた支援と協力の概要 —

これまで、東日本大震災をはじめ、全国で発生した災害に際して、職員の手伝いや支援物資の提供など、23区が連携して被災自治体に対して支援を行ってきました。

平成27年には、東北六魂祭「協力・連携絆結式」を実施し、まつりの実施に当たって支援金の提供や、特別区のブース設置、各区役所での一体的PR、東京区政会館における「東北絆まつり」の紹介展示を実施してきました。

協力・連携絆結式

被災地支援

特別区のブース

東京区政会館 紹介展示

TOHOKU KIZUNA FESTIVAL 東北絆まつり

東北絆まつりとは

東日本大震災の鎮魂と復興を願い、2011年から開催されてきた「東北六魂祭」を前身としています。

2017年からは名称を「東北絆まつり」とし、復興に向けた魂を継承しながら、東北各地で開催しています。

東北を代表する夏祭りである「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「盛岡さんさ踊り」「山形花笠まつり」「盛岡さんさ踊り」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」「福島わらじまつり」が想いを集結し、東北を盛り上げました。

東北絆まつりのあしあと

- 東北六魂祭 2011年7月16・17日 23区協賛(約1700名)
- 東北六魂祭2012 盛岡復興はつつく、魂も、つつく、2012年5月26日・27日
- 東北六魂祭2013 福島今こそ、魂のチカラを、2013年5月11・23日
- 東北六魂祭2014 山形いき、新しい東北へ、2014年5月24日・25日
- 東北六魂祭2015 秋田心はひとつ、さらに前へ、2015年5月22日・3日
- 東北六魂祭2016 青森未来へ届けよ、東北の魂、2016年5月22日・24日
- 東北絆まつり2017 仙台2017年4月10日・11日 この日から絆を築き始めた
- 東北絆まつり2018 盛岡2018年6月2日・3日
- 東北絆まつり2019 福島2019年4月11日・23日 2019年4月11日開催
- 東北絆まつり2021 山形絆の火を灯す、2021年5月22日・24日

秋田 竿燈まつり

山形 花笠まつり

盛岡 さんさ踊り

青森 ねぶた祭

山形 花笠まつり

仙台 七夕まつり

福島 わらじまつり

展示では、「東北絆まつり」の趣旨や開催経過、6祭り(青森ねぶた祭・秋田竿燈まつり・盛岡さんさ踊り・山形花笠まつり・仙台七夕まつり・福島わらじまつり)の内容、「東北絆まつり2021山形」の開催概要の紹介や、「東北絆まつり」の映像上映などを行いました。

東日本大震災からの復興を願う「東北まつり」の意義や足跡を発信するとともに、東北の魅力や素晴らしさを発見し、交流を深めていただくきっかけとなる展示となりました。



この展示のアーカイブはこちらからご覧いただけます